

「北鶴橋地区災害避難施設用地活用事業者募集プロポーザル」
に係る事業提案評価会議評価結果について

1. 計画提案評価対象件数：1者

2. 評価基準を満たした提案：1者

3. 評価結果及び講評

【評価結果】 ※委員3名の評価点（105点満点ずつ）を平均しています。

| 項目 | 提案に求める条件 | 配点 | 社会医療法人 弘道会 |
|----------|---|------|---------------|
| A. 全体計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括的視点を持った活用提案 ・ 平時から密接な地域連携の視点 ・ 周辺環境に配慮した取組 | 30点 | 19.7点 |
| B. 避難所機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 速やかな避難所の開設、運営が可能な活用方法 ・ スムーズな避難所運営が可能な動線計画 ・ 必須条件の基準を満たす避難所スペース等の確保・外部から直接出入りが可能な動線計画 ・ 地域等と連携した防災に関する取り組み | 35点 | 26.0点 |
| C. 実現性 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の実現に向けた確実性、実施力 ・ 法令等に基づき必要となる手続き、開業に向けた許認可の手続きを踏まえ、円滑に開業が見込めるスケジュールの提示 ・ 提案の実行性と安定的な施設運営が見込まれる資金計画等の提示 | 35点 | 24.7点 |
| D. 加算点 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案に求める条件以上の地域貢献等 | 5点 | 2.0点 |
| 合計 | | 105点 | 72.4点 |

【事業予定者(社会医療法人 弘道会)の提案に対する各委員からの講評】 ※順不同

- ・ 事業計画について、関係法人が運営する計画敷地近辺の特別養護老人ホームと連携し、入浴・食事のための同施設の開放、同施設職員による応援体制の用意、夜間や施設休館日における避難所スペースに至る建物出入口の速やかな解錠など、災害時におけるサポートを提供する提案は、地域貢献に資すると評価できる。また、施設整備費用を全額自己資金で調達されるなど、豊富な資金力による事業の高い実現性が見込まれる提案となっている。さらに、想定避難者数を超えた避難者があった場合、活用可能な部屋を使って臨機応変に対応する姿勢も評価できる。
- ・ 災害時において地域と連携して対応を行うためには、日ごろから顔の見える関係性を構築することが重要である。平時の地域の防災活動との連携内容について、区役所及び地域と協議を行い、具体化していただきたい。また、必須要件に加えて提案のあった、災害時における駐車スペースの開放

や、看護学校ならではの保健室開放等による避難所のバックアップ機能について、確実に実施できるよう具体的な運用方法を検討いただきたい。

- ・事業スケジュールについては、北鶴橋小学校の閉校を踏まえると、公募要件より1年早い令和9年4月開設予定とされている点は大いに評価できる。しかし、昨今の建設費高騰や人手不足等の影響による建設事業の困難さにより事業スケジュールに遅れが生じるおそれがあると認識しているとのことであった。本施設の開設時期は、代替避難施設の確保等と密接に関連するため、今後、事業計画を具体化する中で、精査した開設時期を明確に示して進めていただきたい。
- ・敷地の緑化計画については、公園の緑との連続性を意識しているとのことなので、駐車場の東側道路沿い部分も植栽するなど、より良好な景観形成を図るよう工夫されたい。
- ・本施設が、長期にわたり北鶴橋地区の防災資源として活用されることを期待する。

4. 評価会議委員の構成（敬称略、順不同）

阿部 正和

一般財団法人 大阪建築防災センター 専務理事

関連分野：防災、建築

石原 凌河

龍谷大学 政策学部政策学科 准教授

関連分野：地域防災

野中 仁

中小企業診断士

関連分野：企業経営